

ベンザルコニウム塩化物消毒液0.025%「ヨシダ」

Benzalkonium Chloride Disinfectant Solution 0.025% 「Yoshida」

日本薬局方 ベンザルコニウム塩化物液

貯法：気密容器
使用期限：包材等へ記載

承認番号	22600AMX00110000
薬価収載	薬価基準未収載
販売開始	2014年4月
再評価結果	1982年8月

【組成・性状】

1. 組成

ベンザルコニウム塩化物0.025w/v%

2. 製剤の性状

本剤は無色～淡黄色澄明の液で、特異なおいがある。

【効能・効果】【用法・用量】

効能・効果	用法・用量
手術部位(手術野)の粘膜の消毒 皮膚・粘膜の創傷部位の消毒	ベンザルコニウム塩化物 0.01～0.025%溶液を用いる。
感染皮膚面の消毒	ベンザルコニウム塩化物 0.01%溶液を用いる。
膣洗浄	ベンザルコニウム塩化物 0.02～0.025%溶液を用いる。
結膜囊の洗浄・消毒	ベンザルコニウム塩化物 0.01～0.025%溶液を用いる。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 本剤は濃度に注意して使用すること。
- 2) 炎症又は易刺激性の部位(粘膜、陰股部等)に使用する場合には、正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。
- 3) 本剤を希釈して使用する場合は、精製水を使用して調製後滅菌処理すること。

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確と成る調査を実施していない。

過敏症 ^{注)}	発疹、癢痒感等の過敏症状(頻度不明)
-------------------	--------------------

注)このような症状があらわれた場合には、使用を中止すること。

3. 適用上の注意

(1)人体

- 1) 投与経路：経口投与しないこと。浣腸には使用しないこと。
- 2) 使用時
 - ア. 皮膚・粘膜の刺激症状があらわれることがあるので、注意すること。
 - イ. 粘膜、創傷面又は炎症部位に長期間又は広範囲に使用しないこと(全身吸収による筋脱力を起こすおそれがある)。
 - ウ. 密封包帯、ギプス包帯、パックに使用すると刺激症状があらわれることがあるので、使用しないことが望ましい。

(2)その他

1) 調製方法

繊維、布(綿、ガーゼ、ウール、レーヨン等)は本剤の成分であるベンザルコニウム塩化物を吸着するので、これらを溶液に浸漬して用いる場合には、有効濃度以下とならないように注意すること。

2) 使用時

- ア. 血清、膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している場合は、十分に洗い落としてから使用すること。
- イ. 石けん類は本剤の殺菌作用を減弱させるので、石けん分を洗い落としてから使用すること。
- ウ. 皮膚消毒に使用する綿球、ガーゼ等は滅菌保存し、使用時に溶液に浸すこと。

【薬効薬理】

本剤はグラム陽性菌、グラム陰性菌及び真菌には有効であるが、結核菌及び大部分のウイルスに対する効果は期待できない。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：ベンザルコニウム塩化物(Benzalkonium Chloride)

化学名：Alkylbenzyltrimethylammonium chloride

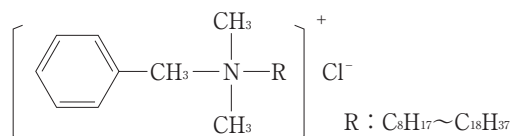
分子式： $[C_6H_5CH_2N(CH_3)_2R]Cl$ Rは $C_8H_{17} \sim C_{18}H_{37}$ (主として $C_{12}H_{25}$ 及び $C_{14}H_{29}$)分子量： $C_{22}H_{40}ClN$ ：354.01

性状：白色～黄白色の粉末又は無色～淡黄色のゼラチン状の小片、ゼリー様の流動体若しくは塊で、特異なおいがある。

水又はエタノール(95)に極めて溶けやすく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

本剤の水溶液は振ると強く泡立つ。

構造式：



【取扱上の注意】

本剤は滅菌製剤なので、開封時及び開封後は、微生物による汚染に注意すること。

【包装】

30mL×200

【文献請求先】

吉田製薬株式会社 学術部

〒164-0011 東京都中野区中央5-1-10

TEL 03-3381-2004

製造販売元



吉田製薬株式会社

埼玉県狭山市南入曽951